

# JTCAシンポジウム2025 On the Web 総括イベント

2025年11月25日 ダイキン福祉サービス(株) 鋤野 英俊

# 自己紹介

鋤野 英俊（すきの ひでとし）<シンポジウム2025関西区実行委員会議長>

ダイキン福祉サービス(株) 印刷部 制作グループ

- ・取扱説明書・据付説明書・設備設計資料・サービス資料・研修資料の作成
- ・3DCAD、3DCG動画やアニメーション取説の作成
- ・設定画面のドッドラプリ開発、トレーニングシミュレーター開発、技術翻訳

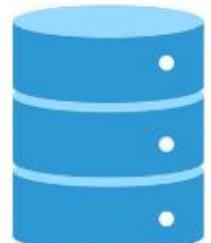


## 業務履歴

- ・1988年 ダイキン工業株式会社 入社
- ・店舗オフィス用エアコン 開発業務、気流解析シミュレーション
- ・仕様データベース構築支援、ルームエアコンCADインストラクター、オプション開発業務
- ・ルームエアコン営業向図面作成、カタログ含め印刷物の開発支援を集約化
- ・2003年 ダイキン福祉サービス(株)へ出向 制作+印刷の黒字化

## テクニカルコミュニケーション協会での活動

- ・シンポジウム実行委員（2002年～）・TC協会 評議員（2013年～）
- ・シンポジウム2025関西地区実行委員会 議長



# TCシンポジウム2025 テーマに込めた思い

テーマ：ぼちぼちやろか データ活用  
～制作現場はどこまで進んだのか？

下記を考えるシンポジウム

- ① 関連部門とのデジタルデータ活用（連携）の強化
- ② 長年続けてきた業務プロセスの効率化
- ③ 皆様自身で目指す姿を見つけていただく
- ④ 他社の導入方法・失敗事例～課題解決方法の共有
- ⑤ 業務戦略の再構築・新事業発掘

気づきにくい業務ロス低減とプロセス改善・変更により  
実務に役立つ。新たな役割を見つけ出すシンポジウム

## 開催形態

2025年度は、公益財団法人京都産業21様、公益社団法人京都工業会様の後援の元、京都リサーチパークで開催。シンポジウム最多のセッション数

- ①パネルディスカッション：17
- ②ミニセッション：4
- ③ワークショップ：9
- ④事例研究発表：5
- ⑤スポンサーセッション：20
- ⑥スペシャルスポンサー：2

\* スポンサーセッションのみ、Zoomウェビナーで無料配信を実施

[https://jtca.org/symposium/jtca-sympo-2025/tcsympo2025/tc\\_2025\\_list/](https://jtca.org/symposium/jtca-sympo-2025/tcsympo2025/tc_2025_list/)

**FACE to FACE** リアル開催を重視。また交流会を開催することで  
ネットワーク構築と当事者意識と変革の意欲をもたせる  
説明資料にはない本音を聞きだしたり、より突っ込んだ質疑応答を促す

# TCシンポジウム全体アンケート

「新しい知識の習得」と「抱えている問題の解決策」を期待し参加

- **展示会**では

- ①制作のプロセス、業界の動向がわかった。
- ②ツアーやセッションを併せて参加し理解度が上がった。
- ③マニュアルアワードの見るべきポイント：付箋が良い。

- **基調講演**では

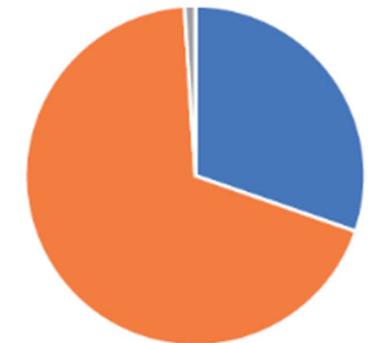
取説やサポートコンテンツの制作にとどまらず、顧客体験改善&ビジネス貢献に向けて何をすべきか、どの組織と協業するとよいか、どのようなスキルや経験を積むべきか

「価値を創る」とはどういうことか理解できた。

- **セッション**では

非常に有意義な場であった。反面、一部、専門用語が多く理解できない

満足 30% + ほぼ満足 68%



■ 満足 ■ ほぼ満足 ■ やや不満

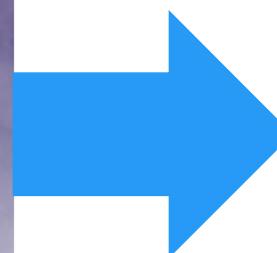
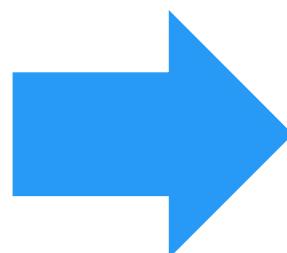
# 基調講演

安西 敬介さん

9.W} [ 'n^aP [ ,/[f]Q [ 合同会社代表

テーマ：「伝える」だけではない「価値を創る」アプローチへ  
～データ活用時代の思考アップデート～

- ・情報を「正しく伝える」ことは、もはやゴールではありません。  
今、求められてくるのは、顧客体験、製品価値、ブランド信頼。  
それらを支えるのは、誰のために、何のために、どのような情報を届けるかを  
設計する「コミュニケーションの構造化力」を事例と共に講演いただいた。

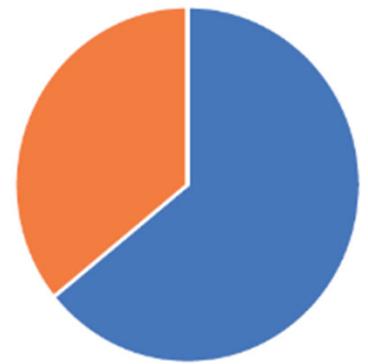


# 基調講演の参加者アンケート

たくさんの基調講演への御礼の言葉がありました。

大変示唆に富み、**多くの学び**を得ることができました。顧客体験の改善において自信を深めるとともに、多くの新たなアイデアが浮かびました。特に、データ活用や生成AIの活用について具体的な事例を交えての解説は実践する上で非常に参考になりました。ジョブ理論を活用したニーズ分析や、生成AIがマニュアル制作に与える影響、また顧客体験のパーソナライズの手法、サンクコストの考え方など、**様々な視点からのアプローチ**が多く、**今後の方針に大いに役立つ内容**でした。

基調講演のあなたの  
仕事（**実務**）に役立  
つ内容でしたか？  
**100%**



- 大変役に立った
- 少しほは役に立った

# TCシンポジウム2025 参加者

参加者のべ※ 2,049名 (登録ユニーク人数は1,060名)  
交流会参加者 130名

## 参加が多かったセッション (抜粋)

番号	タイトル名	人数
TC00	【基調講演】「伝える」だけではない「価値を創る」アプローチへ	80
TC06	【パネルディスカッション】生成AIを活用しワークフローをアップデート!	72
TC12	【パネルディスカッション】最新版AI事情～これからのTCとAIを考える～	64
TC41	【ミニセッション】マニュアルの最前線！～優秀賞受賞会社が語る制作の秘訣～	59
TC04	【パネルディスカッション】翻訳しやすい文章とは～AIを活用するわかりやすい日本語	58
TC02	【パネルディスカッション】メーカーと制作会社間のディレクションにまつわるあれこれ	55
TC23	【ワークショップ】情報設計からはじめるテクニカルライティング講座	16
TC20	【ワークショップ】マニュアル制作基本編	14
TC24	【ワークショップ】校閲力講座～伝えるために必要な校閲の「目」とは～	14
TC21	【ワークショップ】真の説明力を鍛えよう	12
TC25	【ワークショップ】論理的なコミュニケーションの進め方～伝え方と聞き方の基礎から	12

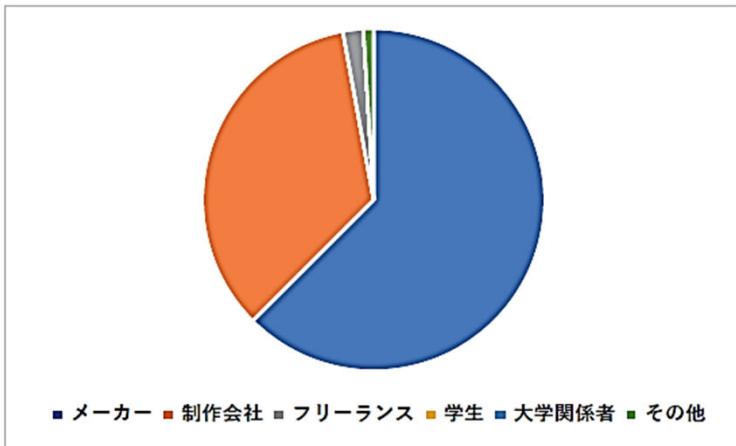
※62基調講演、スポンサーセッション含めて延べ参加者数+総登壇者数： 2,049名

# TCシンポジウム アンケート 参加者の構成

## 所属

メーカー	65
制作会社	36
フリーランス	2
学生	0
大学関係者	0
その他	1

\* その他の詳細は記入なし



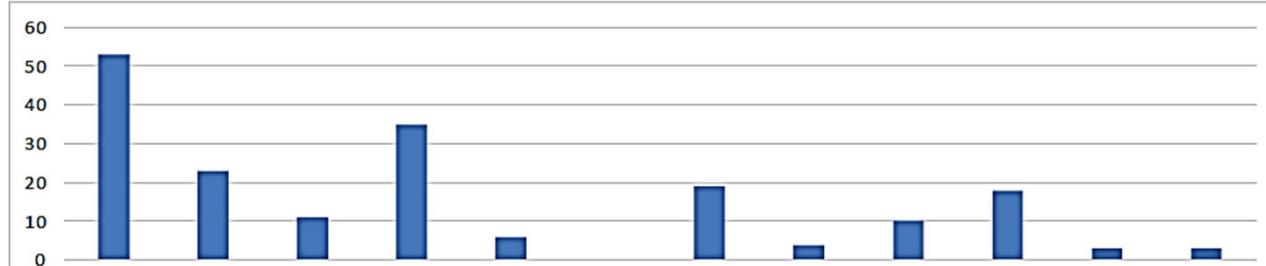
## コメント（所感です）

従来から、ライター、エディターは多い。本年はディレクター、DTPオペレーター、管理者マネージャーが多くなっている。

## 仕事の内容

\*複数回答あり

ライター	エディター	イラストレーター	ディレクター	デザイナー	プログラマー	DTPオペレーター	エンジニア	翻訳者	管理者マネージャー	経営者	その他
53	23	11	35	6	0	19	4	10	18	3	4



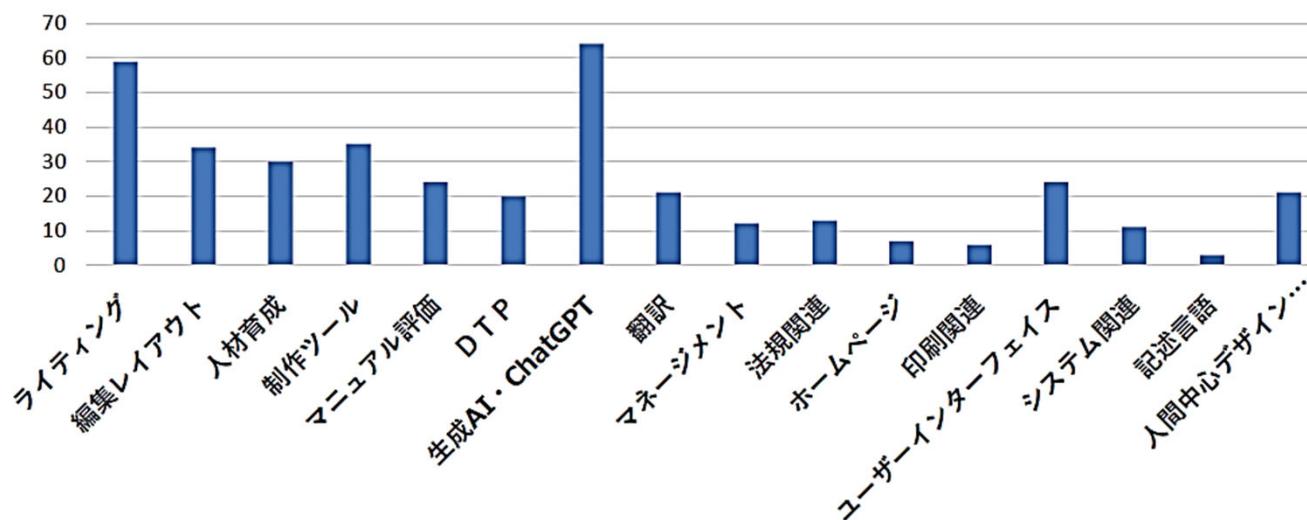
仕事のやり方が変わったり、システム系に業務シフトする環境下で、新たな知識を求めているのかもしれません。

学生、大学関係者をいかに繋げていくのか？も課題と感じました。

# TCシンポジウム アンケート 参加者の興味分野

興味分野 \*複数回答あり

ライティング	編集レイアウト	人材育成	制作ツール	マニュアル評価	DTP	生成AI・ChatGPT	翻訳	マネージメント	法規関連	ホームページ	印刷関連	ユーザーインターフェイス	システム関連	記述言語	人間中心デザイン(HCD)
59	34	30	35	24	20	64	21	12	13	7	6	24	11	3	21



コメント（所感です）

現状の業務内容に興味があるのは当然と思われるが、働き方改革や人材不足による効率化を求めて？  
**制作ツール（生成AI含）への関心が高まっている。**

日々進化しており、情報がカオス化しているので、最新情報が知りたい。

また、ペーパレスやアプリ対応増を背景にして  
**ユーザーインターフェースや人間中心デザイン（HCD）への興味も高くなっている。**

（システム会社流出からTC技術で業務拡大していきたい？）

TCシンポジウム2026は  
ちょっとだけ挑戦することで、明るい未来が見える形になるよう<sup>♪</sup>  
参加していただいた人に、良かった。大満足してもらいたい！

<テーマの観点として>

- ・新しい価値へ自ら挑戦できる
- ・時代の流れに沿ったデータ活用が学べる
- ・直面しているだろう困りごとを解決する
- ・TC技術が役立つ新しい分野の方にも参加を促せる内容

個人的な  
意見です



そして、「コミュニケーションエンジニア」として  
人間中心デザイン力を身につける内容を企画していきたい！  
と思います。

ご清聴ありがとうございました